

ペンディメタリン・リニュロン粉粒剤 カイトック細粒剤 F	取扱メーカー： 日農 原体メーカー： BASF, TKI
成分： ペンディメタリン〔ジントロアニリン系 PRTR・1種〕…1.5% リニュロン〔尿素系 PRTR・1種〕……………1.0%	性状： 黄色細粒及び微粒 毒性： 普通物 消防法： —

【品目特性】……………

- 粒を小さくし、見かけ比重を重くしたので土壌条件、風、散布方法などの影響を受けにくい。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 雑草の発生前～発芽時に有効であるが、雑草の生育が進むと効果が低下するので、使用時期を失しないように散布する。
- 碎土、整地は丁寧に行い、覆土は種子が露出しないようできるだけ丁寧に行う。
- スズメノテッポウやキク科雑草が多発する圃場では登録の範囲内で多めの葉量で使用する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 土壌が極端に乾燥している場合には効果が劣るので、土壌が適度の水分を含んでいる時に散布する。
- 砂質土壌の保水力の小さい畑では使用しない。又、雨が多量に降り続く時や冠水、浸水しやすい畑では薬害のおそれがあるので使用をさける。
- 激しい降雨が予想される時には使用をさける。
- マルチ栽培、トンネル栽培等での使用は薬害を生じるおそれがあるのでさける。
- とうもろこしに使用する場合、スーパースイート系では薬害を生じることがあるので使用をさける。
- 水田裏作の麦に使用する場合、排水不良の畑では使用をさける。
- 適用作物（小麦、大麦）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【適用と使用法】……………

作物名	適用 雑草名	適用 土壌	使用時期	10 a 当り 使用量	使用 方法	適用地帯	本剤の 使用回数	ペンディメタリンを含む農業の 総使用回数	リニュロンを含む農業の 総使用回数	
小麦 (秋播栽培)	一年生 雑草	砂壤土 ～埴土	は種直後～ は種後 5 日 (雑草発生前)	3 ～ 5 kg	全面土壌 散布	北海道	1 回	1 回	1 回	
小麦			は種直後 (雑草発生前)	5 ～ 6 kg		全域(北海道を除く)				
大麦						全域(北海道、東北 を除く)				
にんじん		砂壤土 ～壤土	は種直後 (雑草発生前)	3 ～ 5 kg		全域			2 回以内 (は種直後 は 1 回以 内、にん じん 3 ～ 5 葉期は 1 回以内)	
こんにゃく		砂壤土 ～埴土	植付直後 (雑草発生前)	4 ～ 6 kg		東北、北陸、 関東・東山・ 東海			1 回	
とうもろこし 飼料用とうもろこし	は種直後 (雑草発生前)		5 ～ 6 kg	北海道						
			全域(北海道を除く)							
やまのいも	全土壌	植付後～萌芽前 (雑草発生前)	4 ～ 6 kg	全域		2 回以内 (粒剤は 1 回以内)				